

理科(物理・化学・生物・地学) 同志社大学 全学部日程 [理系] (2/4実施)

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

記述, 計算, 選択

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年に比べて計算問題が少ない。

その他トピックス

理論, 無機, 有機とまんべんなく出題されている。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	記述 選択	遷移元素 錯イオン 異性体	化学	遷移元素の電子配置や性質およびイオン反応式, 錯イオンの推定や立体異性体に関する内容である。	標準
[II]	記述 計算 選択	反応速度 ルシャトリエ の原理 酵素 熱化学	化学	過酸化水素の分解, スクロースの加水分解をテーマに反応速度について問うている。また, 酵素や多段階反応および熱化学なども含まれている。	標準
[III]	記述 計算 選択	元素分析 反応形式 構造決定 異性体 合成高分子 配向性	化学	窒素や硫黄の検出, 反応形式, 炭素間の結合距離, $C_3H_4O_2$ および $C_8H_{10}O$ の構造決定, アクリル繊維の計算問題, <i>m</i> -ブロモアニリンの合成経路など多角的な内容である。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 理論・無機・有機をまんべんなく学習しておくこと。
2. 基礎的な事項を十分整理してマスターしておくこと。
3. 記述問題もあるので、平素から書く練習をしておくこと。
4. 計算問題は、正確な計算力をつけておくこと。
5. 問題演習を十分に行っておくこと。
6. 高分子も十分に演習しておくこと。
7. 実験装置・操作についても、注意しておくこと。